



# 令和5年度 健康福祉審議会 第2回地域健康福祉専門分科会

---

令和6年2月22日(木)

福祉部 福祉政策課

## 1 報告事項

- ▷重層的支援体制整備事業(かしまる)の進捗状況について

## 2 議題

- ▷第5期柏市地域健康福祉計画策定について



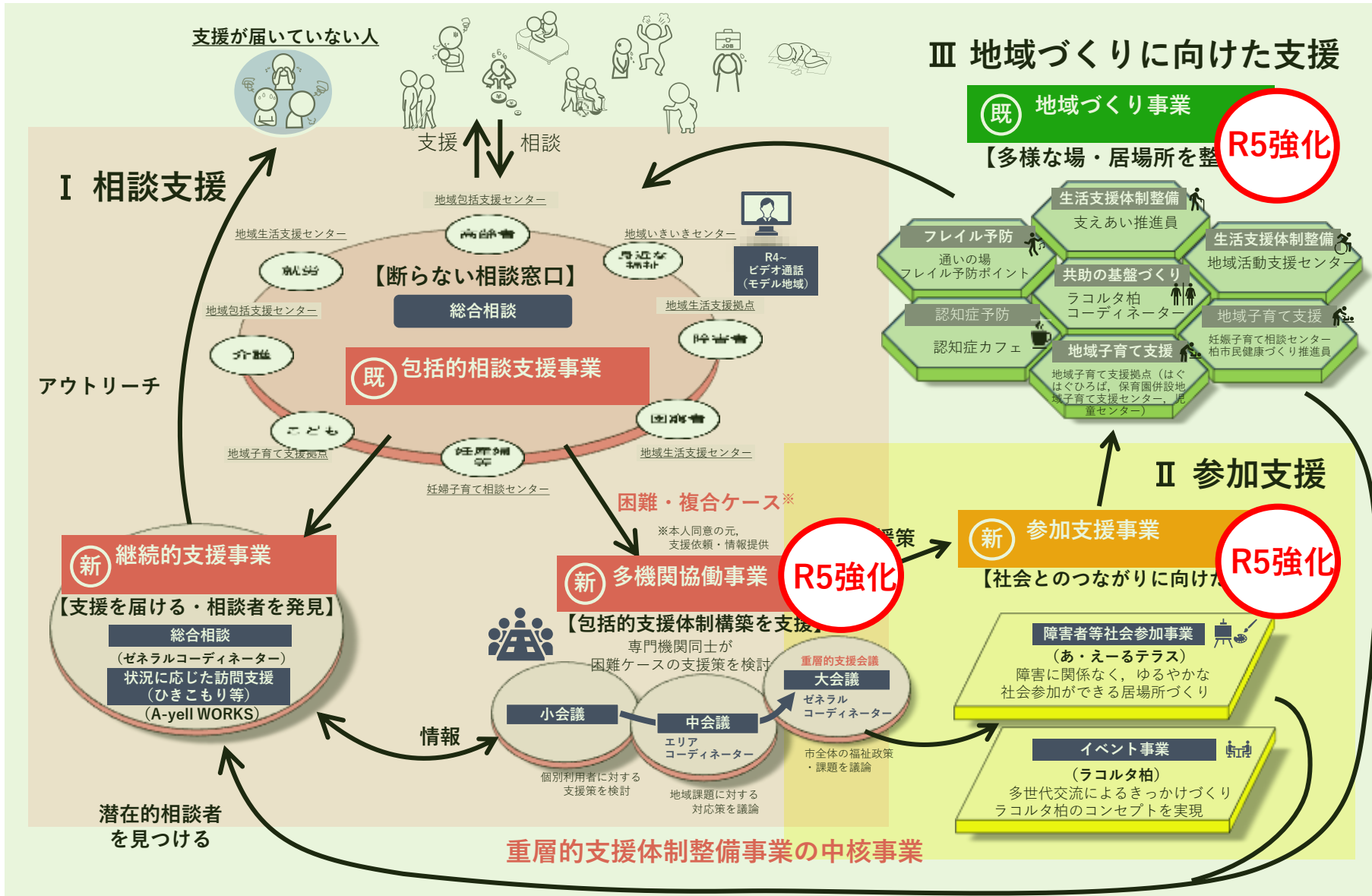
## 1 報告事項

- ▷重層的支援体制整備事業(かしまる)の進捗状況について

## 2 議題

- ▷第5期柏市地域健康福祉計画策定について

# 令和5年度の重層的支援体制整備事業の全体図





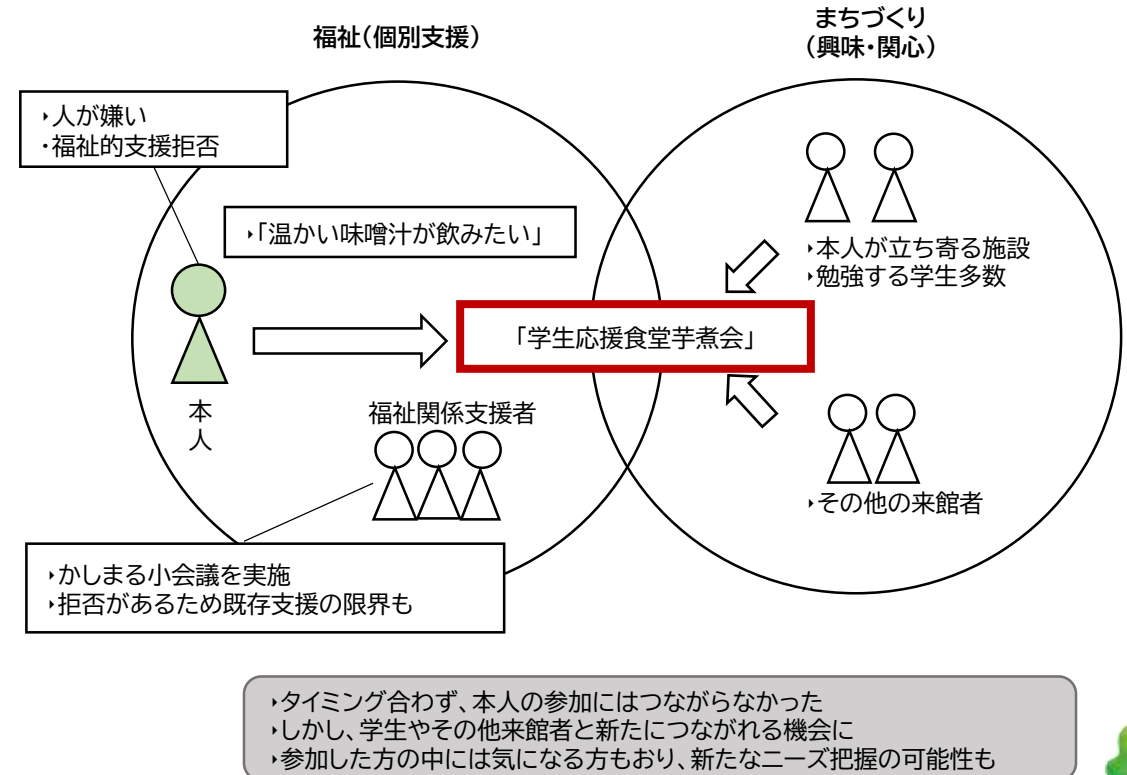
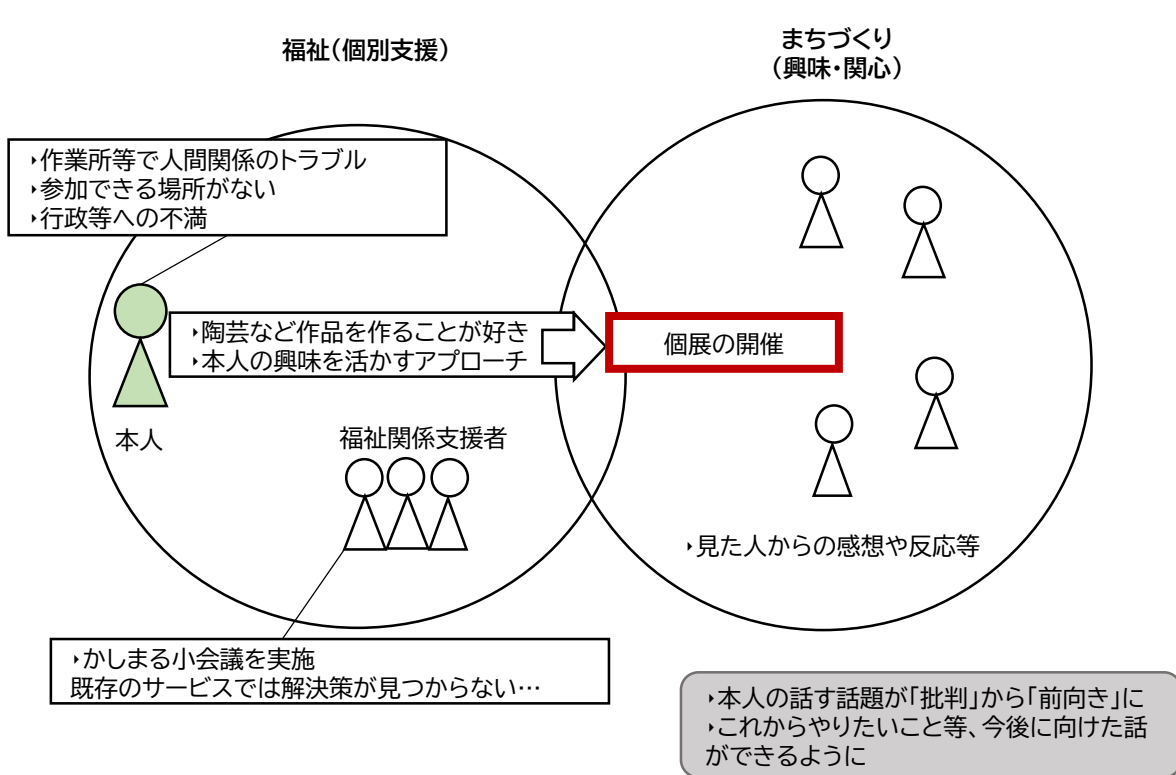
## ▷多機関協働事業

(かしまる対応件数)

	令和4年度	令和5年度 (12月末まで)
ケース取扱件数 [件]	5	17(3)
		※()内は支援終結数
総合相談受付数 [回]	6,138	5,570
相談者数(新規, 継続計) [人]	2,074	1,725

## ▶参加支援事業, 地域づくり事業

地域づくり事業の既存の地域資源だけでは、複合的な課題(枠に当てはまらない)の要支援者の解決につながりにくいいため、参加支援事業である「ラコルタ柏イベント開催事業」において、個別支援を実施





## 令和6年度の新たな取組

### ▷包括的相談支援事業

総合相談事業において「**AIチャットの相談**」機能を開始予定

悩みを抱える市民を誰一人として見捨てない社会へ

- ・相談のきっかけづくり
- ・支援が届かなかった層へのアウトリーチ



◀「悩み相談AIチャットシステム」について、詳しくは市のHPで案内中

### ▷地域づくり事業

地域いきいきセンターで「地域の課題」に即した「活動」と「プレイヤー」を  
を生み課題解決できるように「**地域活動コーディネート支援**」を実施

- ・個別支援に対応できるような仕組みづくり
- ・福祉以外の方の興味, 関心事から地域で支える仕組みづくり

## 1 報告事項

▷重層的支援体制整備事業(かしまる)の進捗状況について

## 2 議題

▷第5期柏市地域健康福祉計画策定について

(1)進捗状況

(2)柏の地域福祉を取り巻くデータの整理

(3)市民ワークショップ実施報告

(4)庁内ヒアリング実施報告

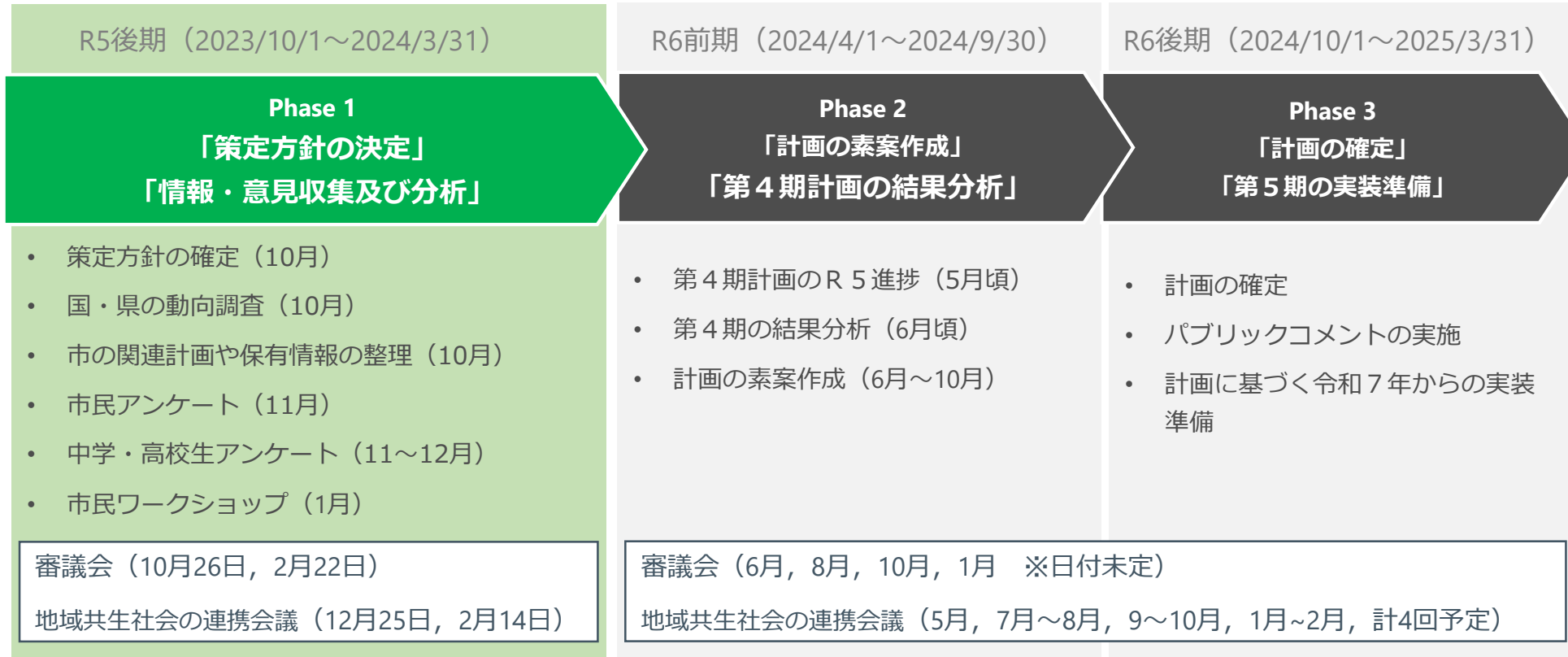
(5)市民アンケート及び中高生アンケート分析結果

(6)計画の体系(案)

(7)令和6年度の策定の進め方



# (1)進捗状況 (10/26第1回分科会資料)



## 取り組みの概要

令和5年度中に市民・庁内からアンケート、ヒアリング、ワークショップ等を通して意見・意向を確認し、国・県の動向も含め、計画策定に必要な情報収集及び整理を行います。

令和6年度以降は計画の素案の作成に入ります。同時に第4期計画の終結に向けて進捗状況や今後への課題を確認し、第5期計画へ繋げていけるよう整理していきます。

# (1)進捗状況(計画策定の進め方と各段階のポイント)



課題  
把握

令和5年度

地域の現状・課題を包括的に  
把握・評価し取組課題を  
明らかにする

現状はどうなっているか？

【実施方法】

- 地域福祉を取り巻くデータの把握
- 市民ワークショップおよび市民・学生アンケートによるニーズや意見を把握
- 庁内関連部署ヒアリングにより、課題および今後検討が必要な視点等を把握

課題の整理・新規検討事項の整理  
基本方針・基本施策(素案)の作成

方針  
決定

令和6年度(前半)

課題解決に向けた  
取組みの方向性  
(基本方針・基本施策)を明らかにする

どんな地域を目指すか？

【実施方法】

- 分科会・庁内関係部署と整理された課題を共有(第4期評価結果)
- 基本方針・基本施策(素案)をベースに、4つの柱(方針テーマ)別に庁内関連部署メンバーとの検討ワーキングを実施し取組の方向性を検討

第5期計画の基本方針・基本施策  
の決定

方法  
決定

令和6年度(後半)

目指す姿の実現に向けて  
各部署で取組む具体的な  
施策・事業を立案する

どうやって実現するか？

【実施方法】

- 決定した基本方針・基本施策の推進に向けて、各部署で取り組む具体的な施策・事業の立案・整理を行い、計画素案を作成
- 分科会・パブリックコメントにより計画素案に対する意見を集約して計画に反映
- 計画推進に向けた準備

第5期計画の策定  
計画推進に向けた体制構築

# (2) 柏の地域福祉を取り巻くデータの整理



## ▷掲載するデータ(案)



…第4期から掲載し継続

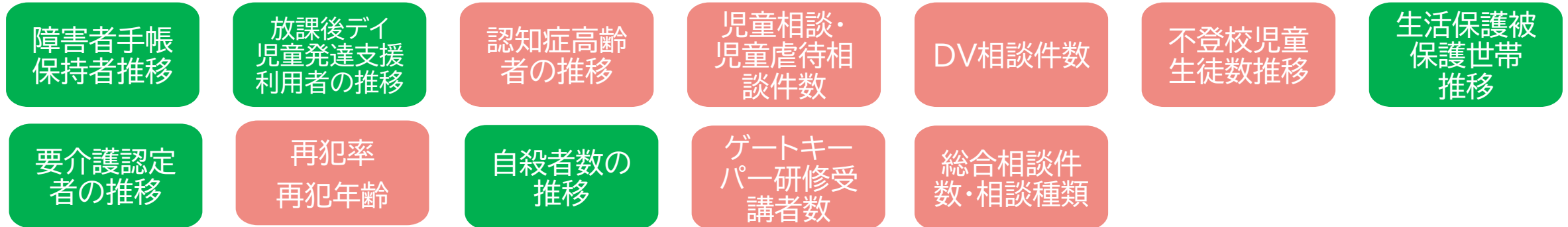


…第5期より新データとして掲載

### (1) 人口等の現状



### (2) 支援ニーズの現状



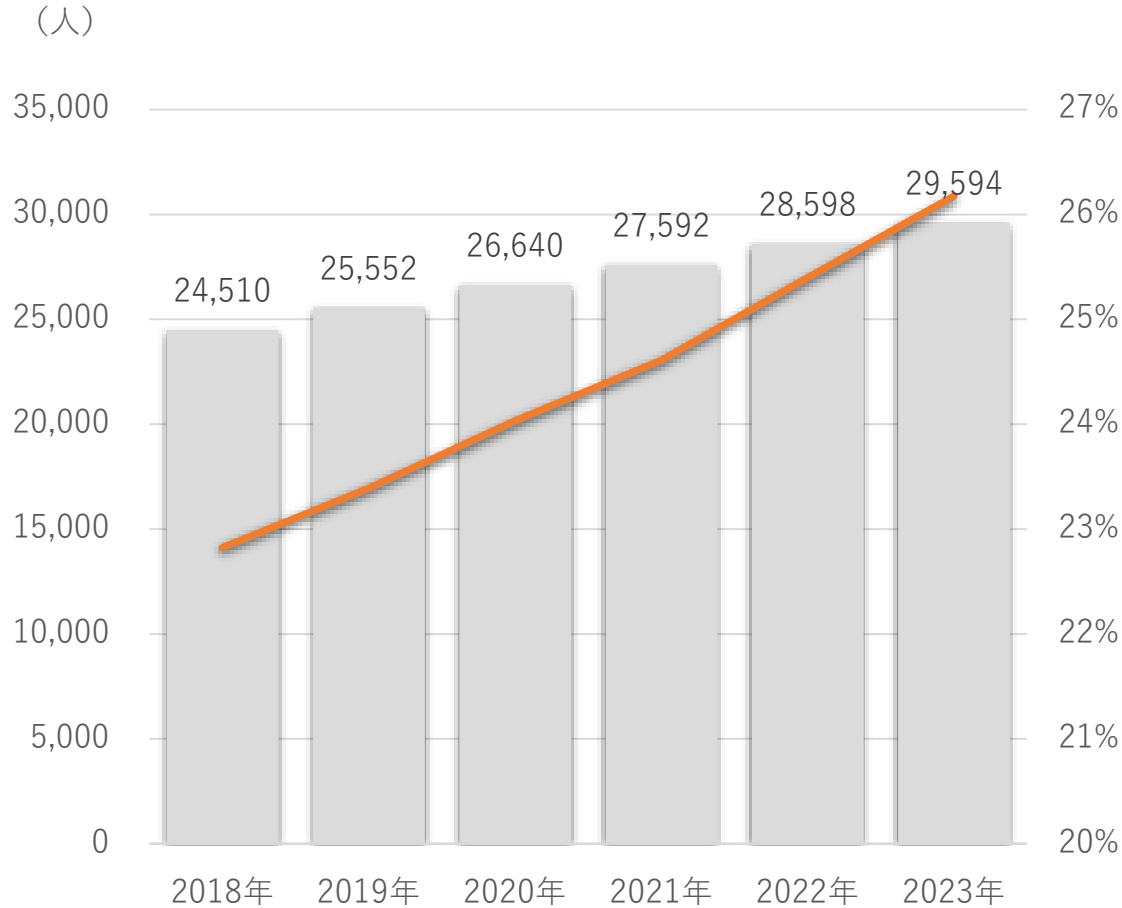
### (3) 地域福祉の支え手・地域組織活動の現状



## (2) 柏の地域福祉を取り巻くデータの整理



### 高齢者のみ世帯推移



それぞれの高齢者が住み慣れた地域で、充実した暮らしやその方らしい生き方を選択できるよう、住まいの確保や交通環境の構築、地域との繋がりや見守り体制などの暮らしに寄りそった支援サービスが必要となってきています。



65歳以上の高齢者（113,055人）の内、  
**約4人に1人**は一人暮らし  
※令和5年度時点

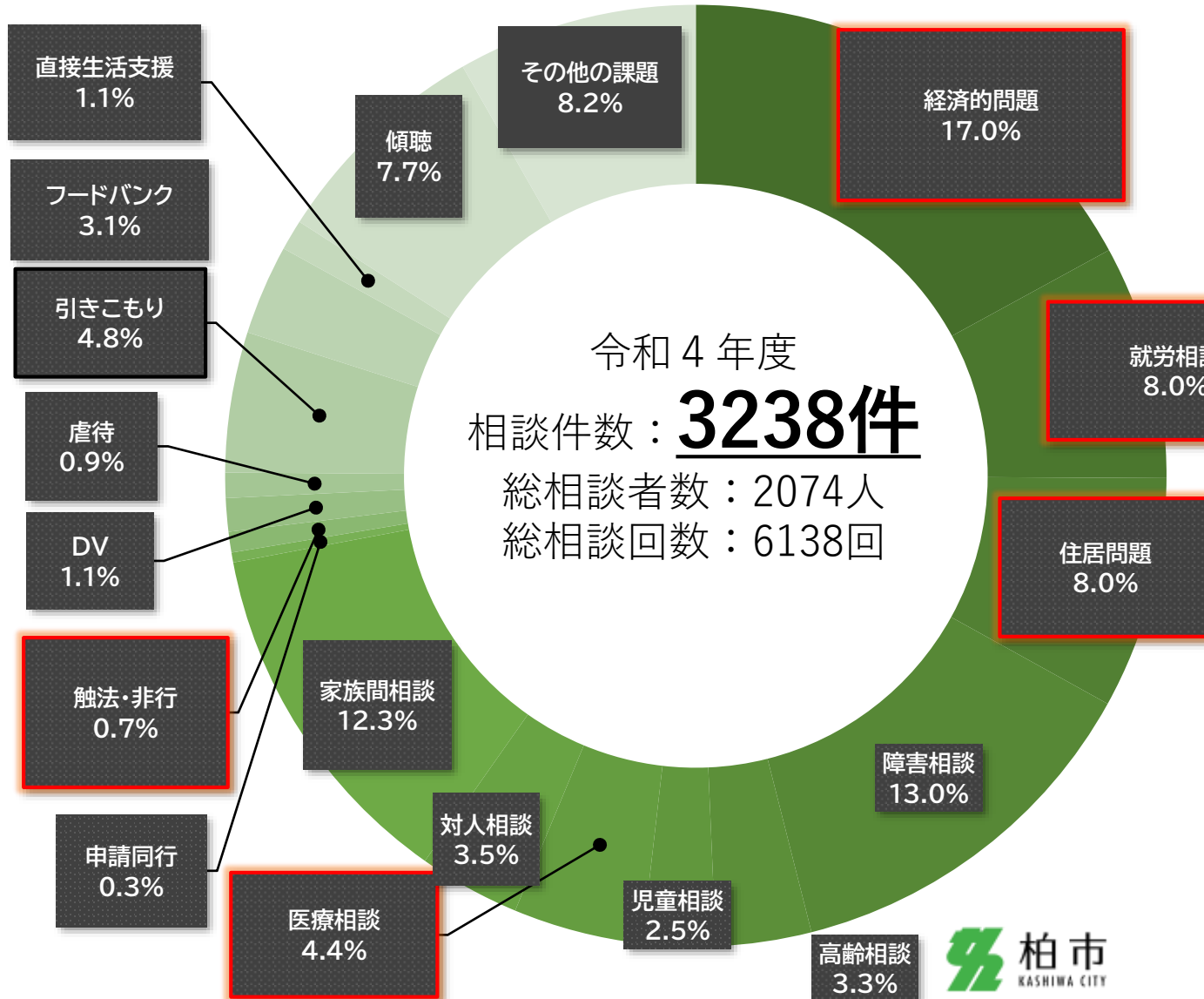
■ 単独世帯    ■ 対高齢者人口比

(出典) 日常生活圏域データ ※住民基本台帳上の一人世帯数による人数を集計したもの

## (2) 柏の地域福祉を取り巻くデータの整理



### 総合相談件数・相談種類(令和4年度)



相談者数が2074人に対し  
相談件数が3238件  
相談事が1つでなく、複数  
のことになっていることが  
わかります。

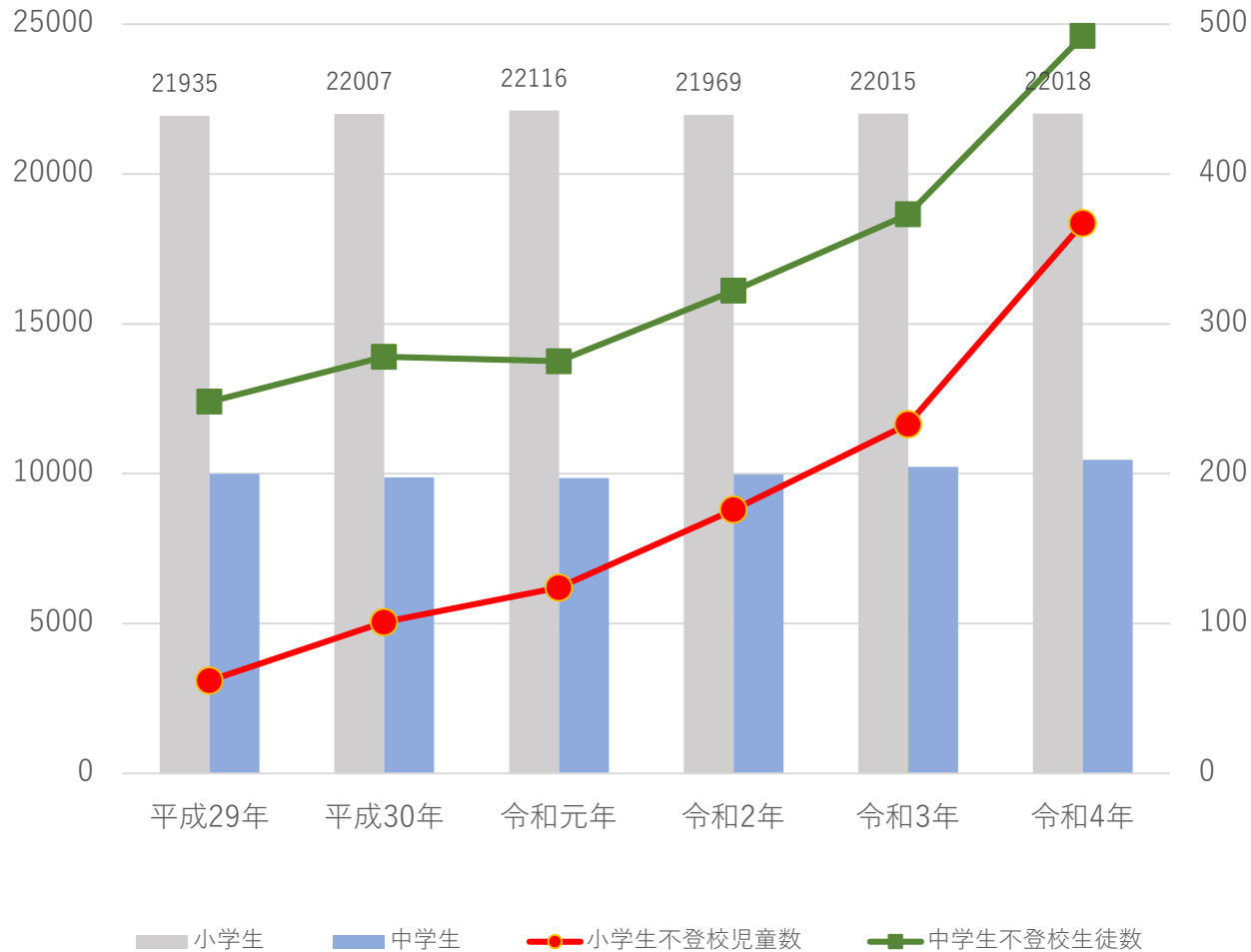


**相談が多岐**  
(税, 住宅, 医療, 就労, 水道,  
触法 等)  
→**相談者の困難ニーズは福祉分  
野だけではない**

## (2) 柏の地域福祉を取り巻くデータの整理



不登校児童・生徒数の推移



地域健康福祉計画では、地域における「高齢者の福祉、障害者の福祉、児童の福祉、その他の福祉に関し、共通して取り組むべき事項」を盛り込むことが求められています。  
地域で過ごす児童生徒の不安や孤独などを取り除けるよう取組が必要です。

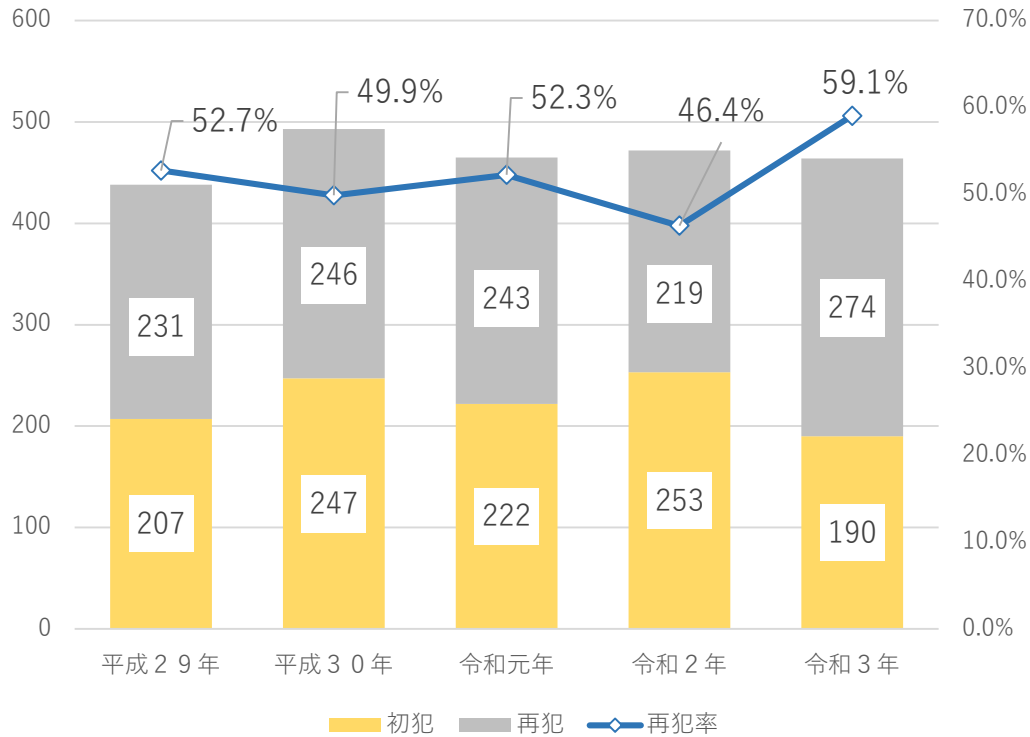


不登校児童・生徒数は、いずれも増加傾向にあります。  
特に、小学校児童の不登校数が増えてきており、平成29年から令和4年にかけて305人の増加となっています。

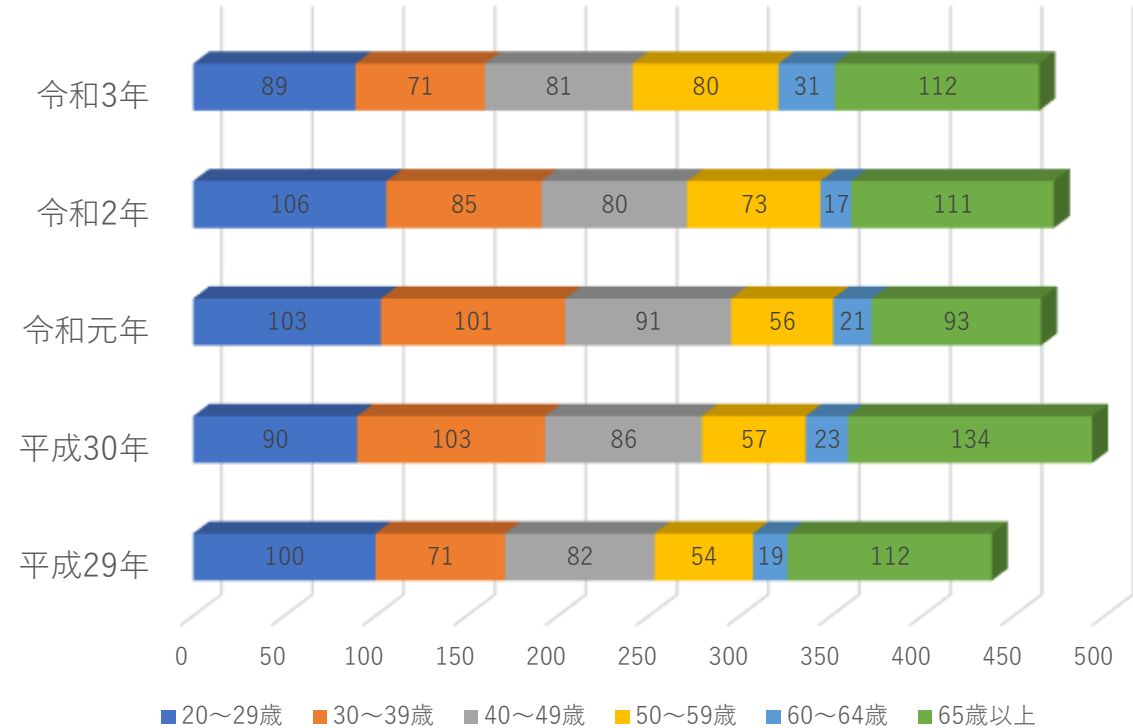
# (2) 柏の地域福祉を取り巻くデータの整理



## 再犯率



## 刑法犯の年齢層



出典：警察庁が取りまとめている犯罪統計書に記載される検挙人数に関して、警察署別の統計データとして、法務省矯正局に提供されたものです。（少年データは含まれません。）

刑法犯で検挙された人のうち、約6割の方が再犯です。  
年齢では4人に1人が、65歳以上の高齢者となっています。

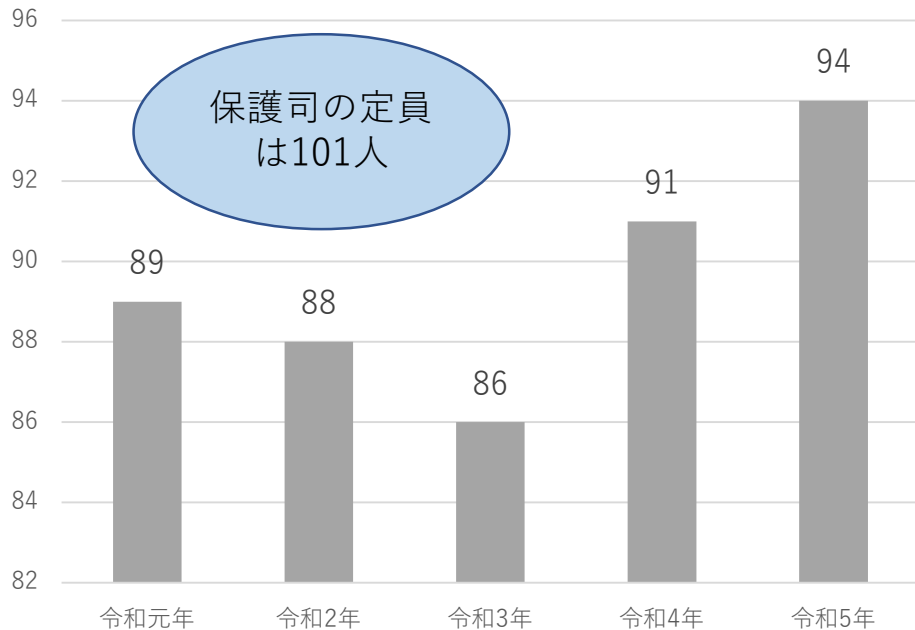


## (2) 柏の地域福祉を取り巻くデータの整理

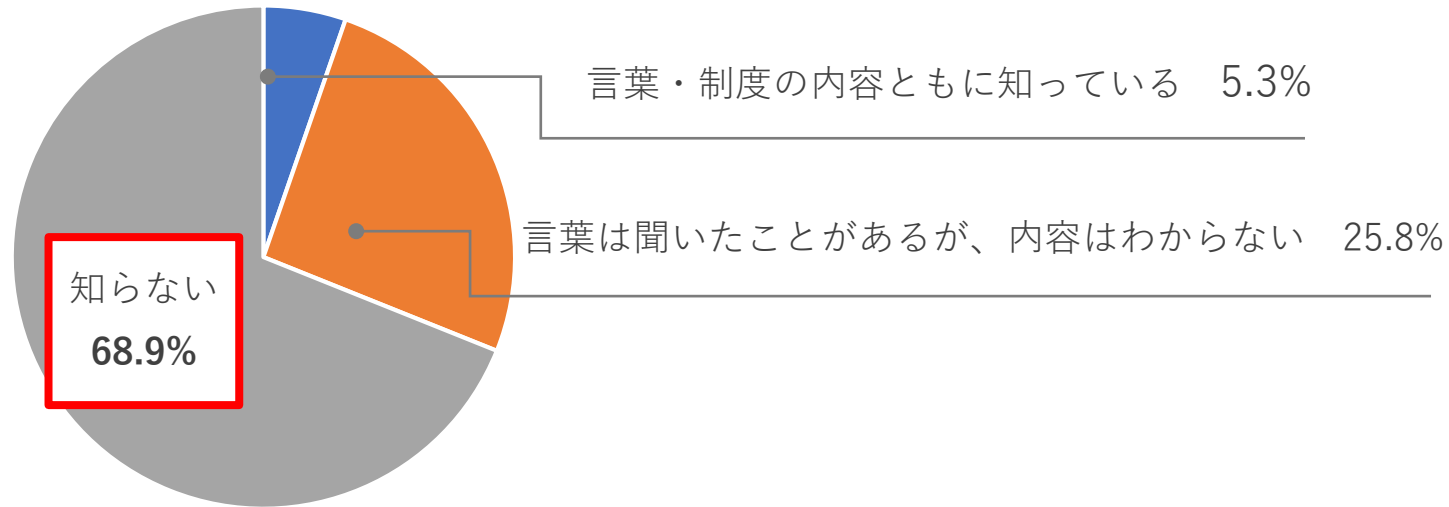


### 保護司充足率

保護司の人数



社会を明るくする運動の認知度



出典：令和5年度「柏市地域健康福祉アンケート調査」

保護司の数は徐々に増加傾向にありますが、更生保護への理解促進に関する取り組み「社会を明るくする運動」の認知度はまだ低い状況です。



# (3) 市民ワークショップ実施報告(内容)



目的	市民のあるがままの声を聴きながら、策定する計画と市民の現状が一緒か、またはズレがあるかを確認する場として実施。
対象	柏市在住の一般市民(幅広い層)を対象に実施
実施期間	2024年1月21日(日)9:30~12:30
参加者数	17名
ワーク内容	ローカルダイアログを活用した対話型ワークショップ

## Step1 ビジョンカード

4

からだも心もいきと健康に通ごせる地域

3

地域の住民が主体性を持って地域の活動やまちづくりに参加し合う地域

1

おかげさま・お互いさまの気持ちで自然と声掛けや助け合いがある地域

11

地域内外問わず多様な人と関わりながら賑わいのある地域

9

時代の変化に適応していく持続可能な地域

5

子どもから高齢者までが幸せで豊かな生活が送れる地域



## Step2 ダイアログカード

<p>① 地域資源の豊かさ</p> <p>希望する働き方 (正社員、パート・アルバイト、自営、高齢就労)で働くことができる機会(場)があると思う</p> <p>11-2 NO</p>	<p>① 地域資源の豊かさ</p> <p>仕事や社会生活において、自分の持っている知識や技術を十分に発揮できる機会(場)があると思う</p> <p>11-1 YES</p>	<p>② 地域とのつながりやすさ</p> <p>地域にサポートが必要な人(高齢・障がい・単身など)がいるかどうか把握できていると思う</p> <p>5-3 NO</p>	<p>② 地域とのつながりやすさ</p> <p>地域に頼れる人がいると思う</p> <p>5-1 NO</p>	<p>③ 暮らしやすさ</p> <p>障がいがある人となない人が共に交流したり活動したりする場がある</p> <p>8-6 NO</p>
<p>④ 行政との連携のしやすさ</p> <p>行政の様々な取組みに何らかの形で参加している人が多いと思う</p> <p>4-1 NO</p>	<p>④ 行政との連携のしやすさ</p> <p>行政職員(役所・役場)に頼りになる人が多いと思う</p> <p>3-3 NO</p>	<p>⑤ まちのコミュニティ</p> <p>心が安らぐ場や機会があると感じている人が多いと思う</p> <p>1-6 NO</p>	<p>⑤ まちのコミュニティ</p> <p>幸せだと感じている人が多いと思う</p> <p>1-1 NO</p>	<p>⑥ 暮らしやすさ</p> <p>災害時に近隣のの人たちと助け合う関係があると思う</p> <p>10-3 NO</p>
<p>⑦ 暮らしやすさ</p> <p>生涯学習や健康増進を行うための施設が充実していると思う (図書館、学習施設、スポーツ施設など)</p> <p>7-7 YES</p>	<p>⑦ 暮らしやすさ</p> <p>子育ての悩みを気軽に相談できる人がいると思う</p> <p>7-2 YES</p>	<p>⑧ 暮らしやすさ</p> <p>高齢者や障がい者にとっても暮らしやすいまちだと思う</p> <p>9-3 NO</p>	<p>⑧ 暮らしやすさ</p> <p>家族の介護に負担や苦痛を感じている人が少ないと思う</p> <p>8-7 NO</p>	<p>⑨ 暮らしやすさ</p> <p>病気や高齢になっても暮らしやすい体制(医療・福祉・生活支援)が整っていると思う</p> <p>8-4 NO</p>

各チームごとに

▶「ビジョンカード」を用いて「まちの目標」を決める

▶「ダイアログカード」で現状の「まち」の現状を話し合う

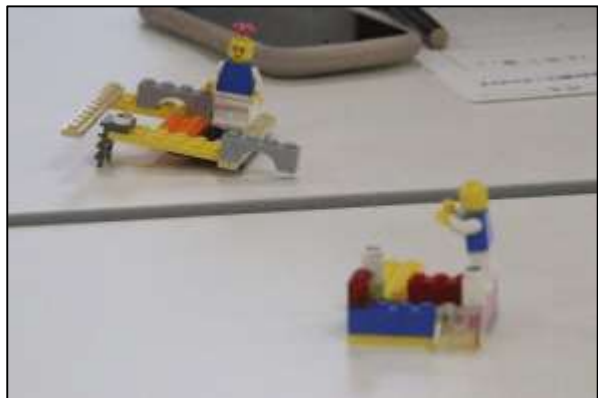
# (3) 市民ワークショップ実施報告(結果)



- ダイアログカードを使ってまちの現状について各グループで対話しカードに記載の問いに対してYES/NOを決めました。  
(大項目、中項目は、ダイアログカードに記載の問いを分類したものになります。)
- 「YES」は強み、「NO」は今後の伸びしろになります。

大項目	中項目	小項目:ダイアログカード(各グループで対話し、YES/NOを決めたカード)	Aグループ	Bグループ	Cグループ	Dグループ
A まちと住民の well-being	1 住民の幸せ度	幸せだと感じている人が多いと思う	YES	YES	YES	NO
		心が安らげる時間を持つことができる場や機会があると感じている人が多いと思う	YES	NO	YES	NO
B 行政と住民の 協働のしやすさ	3 行政と住民の 信頼度	行政職員(役所・役場)に頼りになる存在がいると思う	YES	NO	NO	NO
	4 行政と住民の 連携度	行政の様々な取組みに何らかの形で参画している人が多いと思う	YES	NO	NO	NO
C 人と地域の つながりやすさ	5 地域間の 繋がり度	地域にサポートが必要な人(高齢・障害・単身など)がいるかどうかを把握できていると思う	NO	YES	YES	NO
		地域に頼れる人がいると感じている	NO	NO	NO	NO
D 暮らしやすさ	7 子育て 生涯教育	子育ての悩みを気軽に相談できる人がいると思う	NO	YES	NO	YES
		生涯学習や健康増進を行うための施設が充実していると思う(図書館、学習施設、スポーツ施設など)	YES	NO	YES	YES
	8 健康・医療	病気や高齢になっても暮らしやすい体制(医療・福祉・生活支援)が整っていると思う	YES	YES	NO	NO
		障害がある人とない人が共に交流したり、活動する場がある	YES	NO	NO	NO
		家族の介護に負担や苦痛を感じている人が少ないと思う	NO	NO	NO	NO
	9 交通	高齢者や障がい者にも暮らしやすいと思う	NO	NO	NO	NO
10 防災・安全	災害時に近隣と助け合う関係があると思う	NO	YES	YES	NO	
E 地域資源の豊かさ	11 産業(経済)	仕事や社会生活を含め、自分の持っている知識や技術を十分に発揮できる機会(場)があると思う	NO	NO	NO	YES
		希望する働き方(正社員、パート・アルバイト、自営、高齢就労)で働くことができる機会(場)があると思う	YES	NO	YES	NO

# (3) 市民ワークショップ実施報告(まとめ)



持続可能な福祉をイメージしたブロック

## ビジョンカードの会話の記録



地域の方から声をかけてもらえる(出勤前に地域の方に手を貸してもらえた)幸せを感じられる。

- 地域の人と関わりやすい状況を作れたらいい
- 本音でしゃべる機会を作りたい
- 地域活動に主体性を持って参加できる人を増やせるといい
- 健常者も障害者も隔たりなく生活ができた方がいい
- 全部に目が届くような社会になったらいいな  
どうしても高齢者に目が向きがちだが、どんな人にとっても平等であつたらいい



グループでストーリーを共有

## ビジョンカードの会話の記録



班長として近所の家に集金へ行くと、高齢の方は話をすごくしてくるので、話を聞いてほしいんだと感じる。

- 全ての人が集まれるまち。幸せ感じられそう。
- 行政職員と関わる機会がない
- マンション住まいで頼れる人はいない。近所ではない親に頼っている
- 母子家庭で育ったが、母が十分なサポートを受けていなかった。わからないのだと思う。
- 障害を持つ方に身構えてしまう。接し方がわからなくて自分にバリアを張っている。



集合写真

## 「持続可能な福祉」会話の記録



「困難なこと」と「幸せなこと」の架け橋  
困りごとがあっても周りの見守りがあれば地域で楽しく暮らせる

- 年齢・性別・障害関係なく少しずつ協力する
- 色々な環境や状況の方の存在を認め合える
- 支える人支えられる人でなく、誰もが平面の中の一人として互いを見守る社会
- 「わからない」ことが多い。自分自身が他社に関心を持つことで大きなパワーになる
- 異なる個性を持った人が互いの得意不得意を補いながら壁や差を感じず共に生活していけるサポートが「福祉」

# (4) 市内関係部署ヒアリング実施報告



## ▷実施目的

現状・課題やニーズを把握し、第4期計画における振り返り(評価)を行い、新計画に向けた事業検討に必要な要件を抽出や整理する

## ▷対象部署 (実施期間10/31~11/2)

福祉政策課, 障害福祉課, 生活支援課, 健康政策課, 高齢者支援課, 地域包括支援課, 保健予防課, 地域保健課, 市民活動支援課, こども政策課, 子育て支援課, こども福祉課, こども支援室, 社会福祉協議会(総務課, 相談支援課, 地域福祉課)

## ▷結果概要

ヒアリングから抽出された現状の課題, 今後検討が必要な視点を下記のキーワードごとに整理

人材の育成  
と確保

地域との連  
携と体制

福祉の概念  
の整理と教育

支援内容の多様  
化による組織のコ  
ミュニケーション

支援が届き  
にくい人との  
関わり

切れ目のな  
い支援

健康福祉に  
関する主要  
テーマの対策



# (5)市民アンケート・中高生アンケート報告



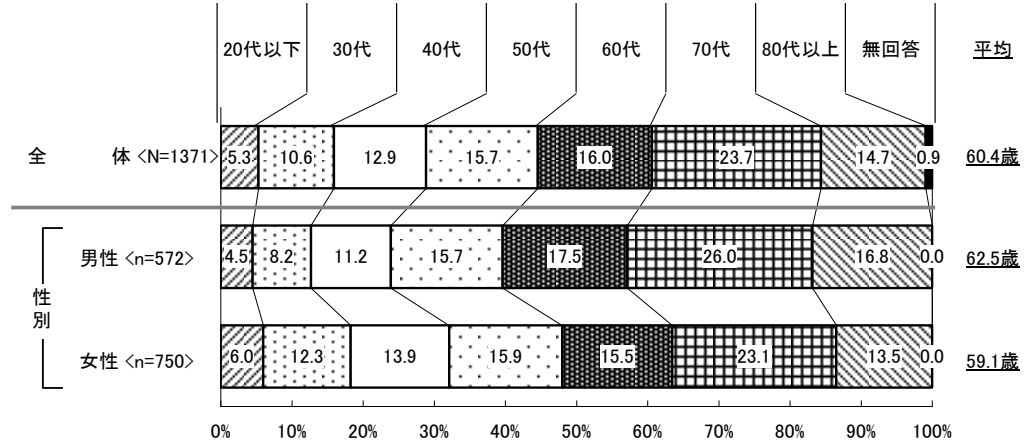
区分	市民アンケート	学生アンケート
目的	これまでの計画の結果指標を図るとともに、地域活動に必要なことなどの意見を広く把握することを目的に実施	市内在住・通学している学生の地域に関する考え方や関わり方について把握することを目的に実施
対象	無作為で抽出した4,000人	柏市在住の中学生と柏市在学の高校生（調査協力の了承が得られた学校で実施）
実施期間	2023年11月1日～11月30日	2023年11月30日～12月25日
回答者数 (回収率)	1,371人(34.3%)	4,667人
調査内容	調査項目(全29問)	調査項目(全22問)

# (5)市民アンケート・中高生アンケート報告

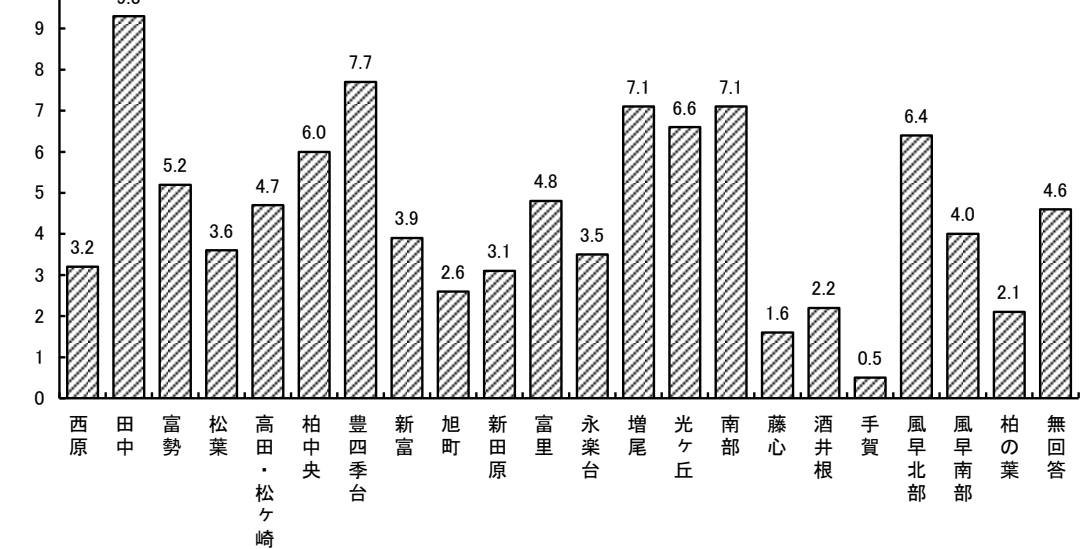


## 市民

回答者年齢構成

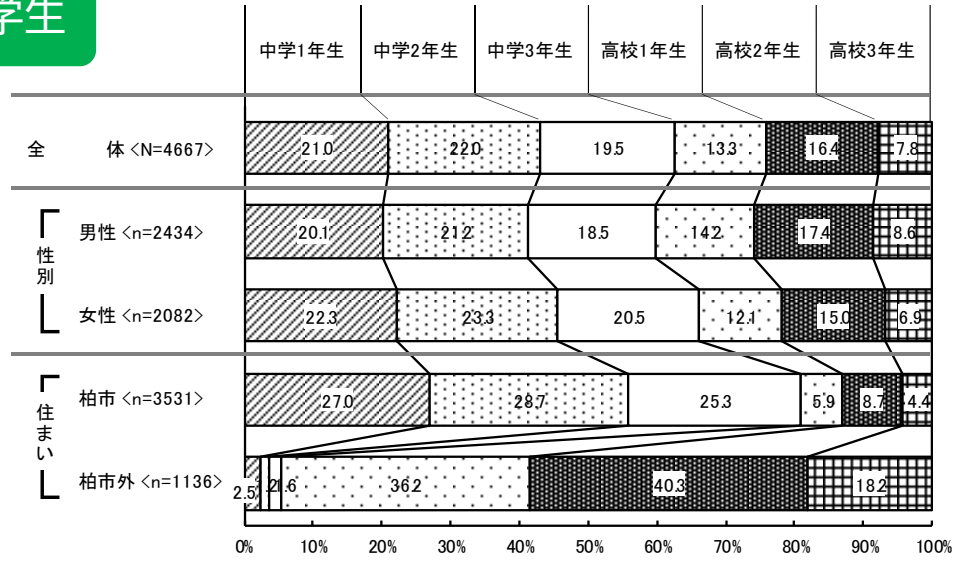


各地域コミュニティごとの回答率 (%)

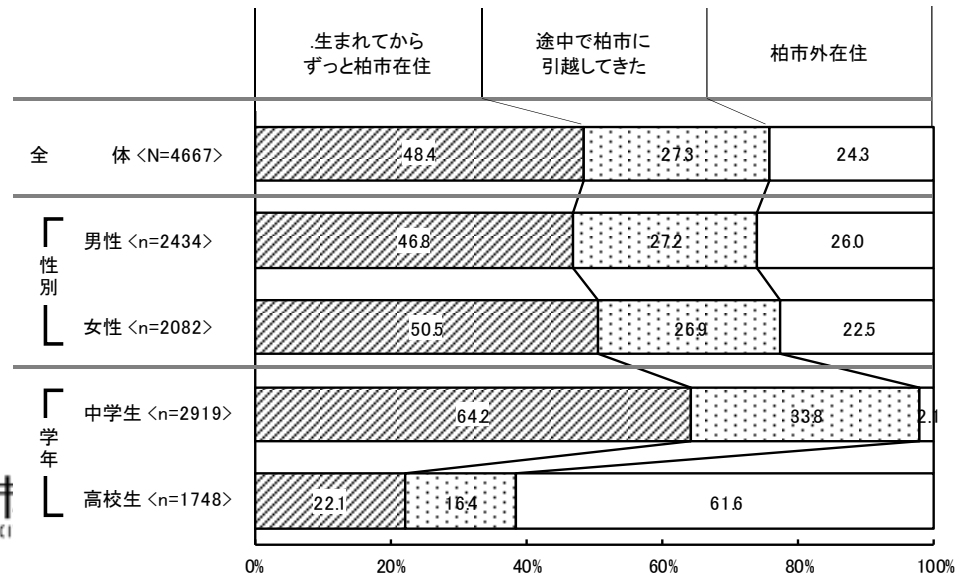


## 学生

回答者学年構成



住まいについて



# (5)市民アンケート・中高生アンケート報告(結果)

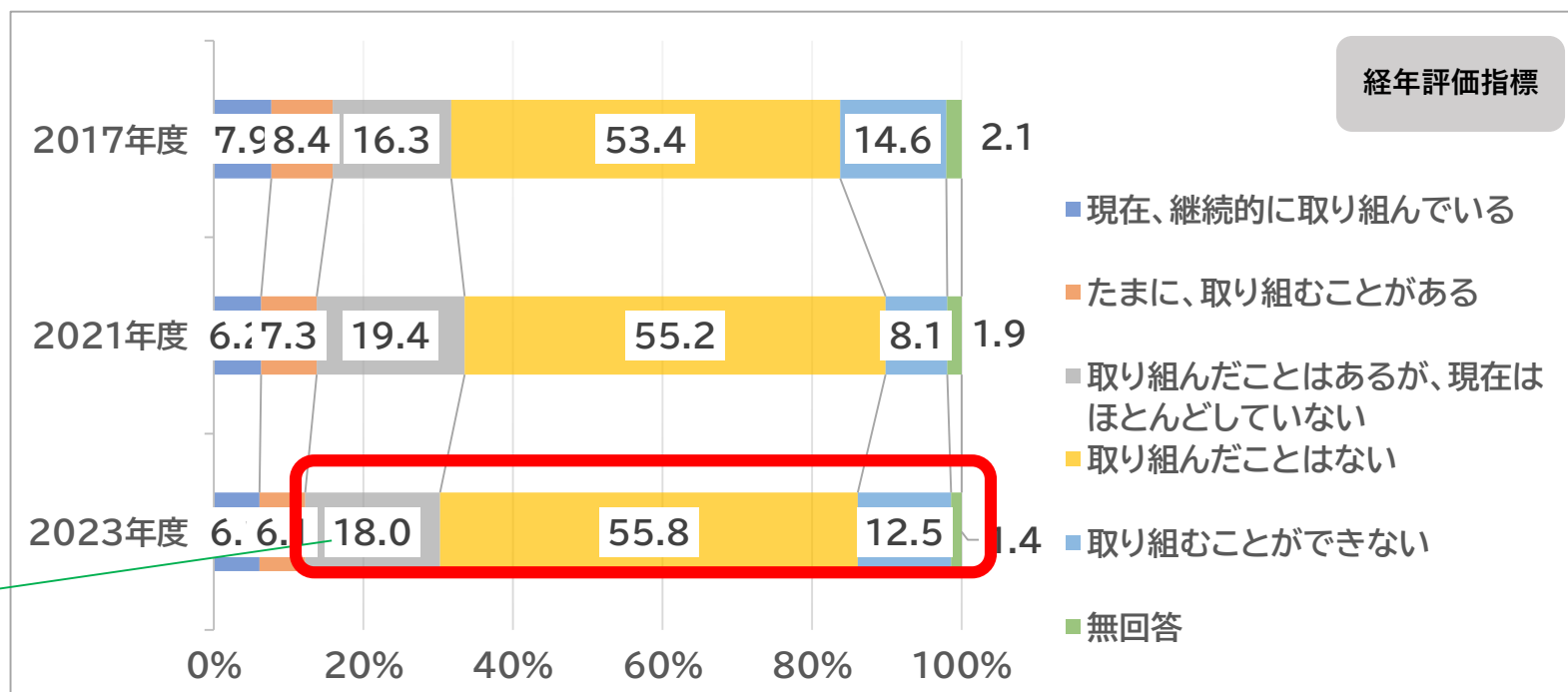


市民

## Q:地域福祉に関するボランティアや市民活動などに取り組んでいるか？

【柱1】

だれもが身近な地域の課題に関心を持ち、共に支え合う地域づくり



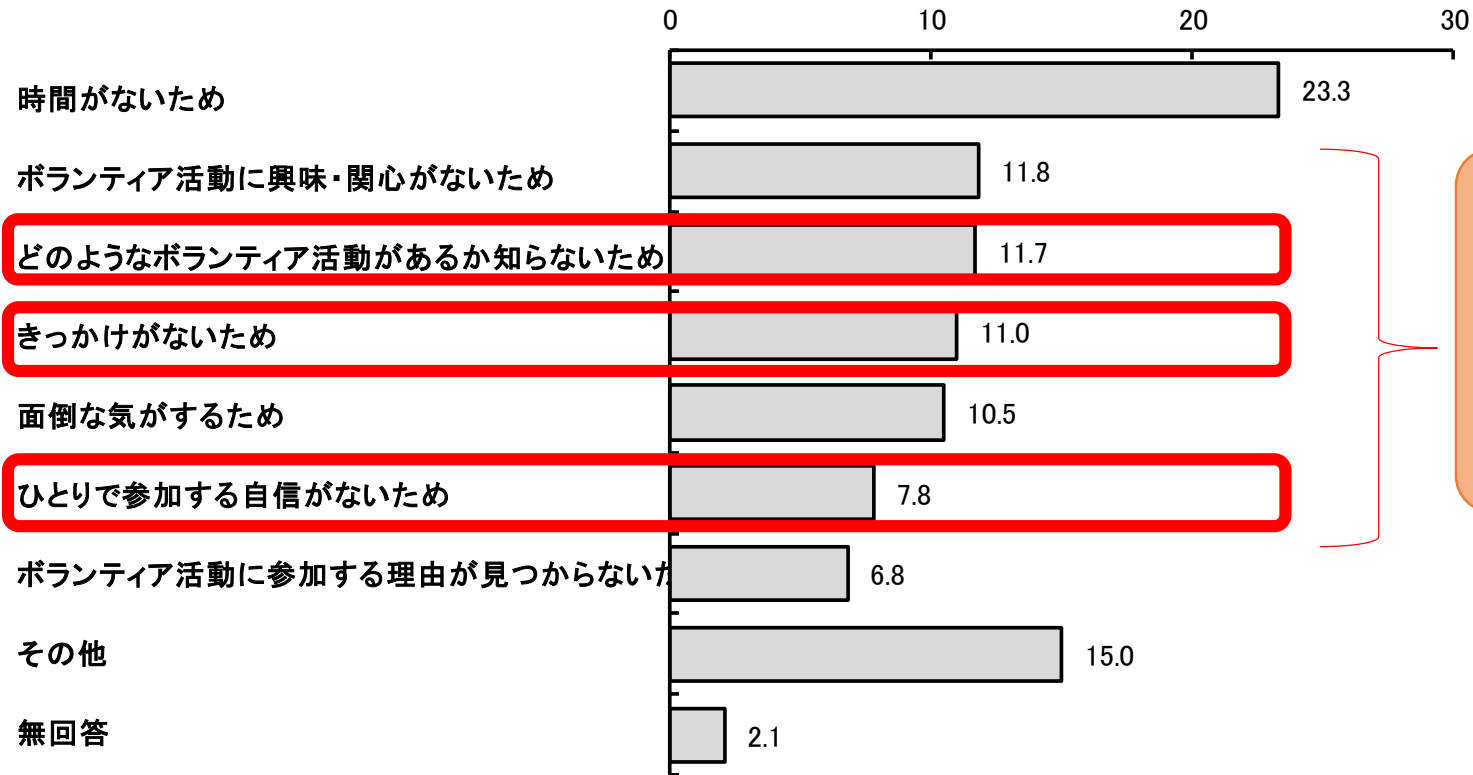
全体の中で「取組んでいない」または「できない」の割合が併せて86%と取組んでない方の割合が年々増える傾向にあります！

# (5) 市民アンケート・中高生アンケート報告(結果)



市民

## Q: 地域福祉に関するボランティアや市民活動などをしていない理由は？



地域活動を担う  
新たな可能性  
がある層



活動できていない方の中でも、情報提供やきっかけ、仲間づくりの機会を増やすことで、地域活動の仲間を増やせる可能性が！



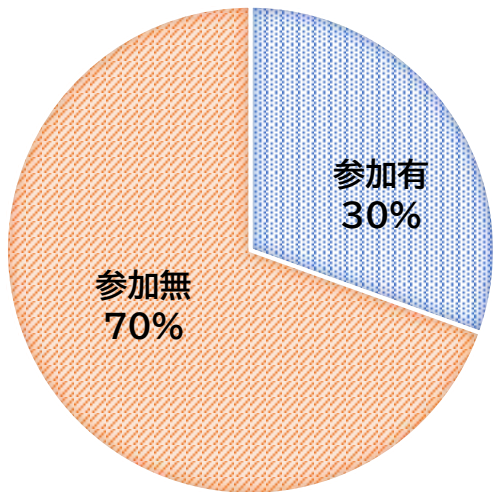
# (5)市民アンケート・中高生アンケート報告(結果)



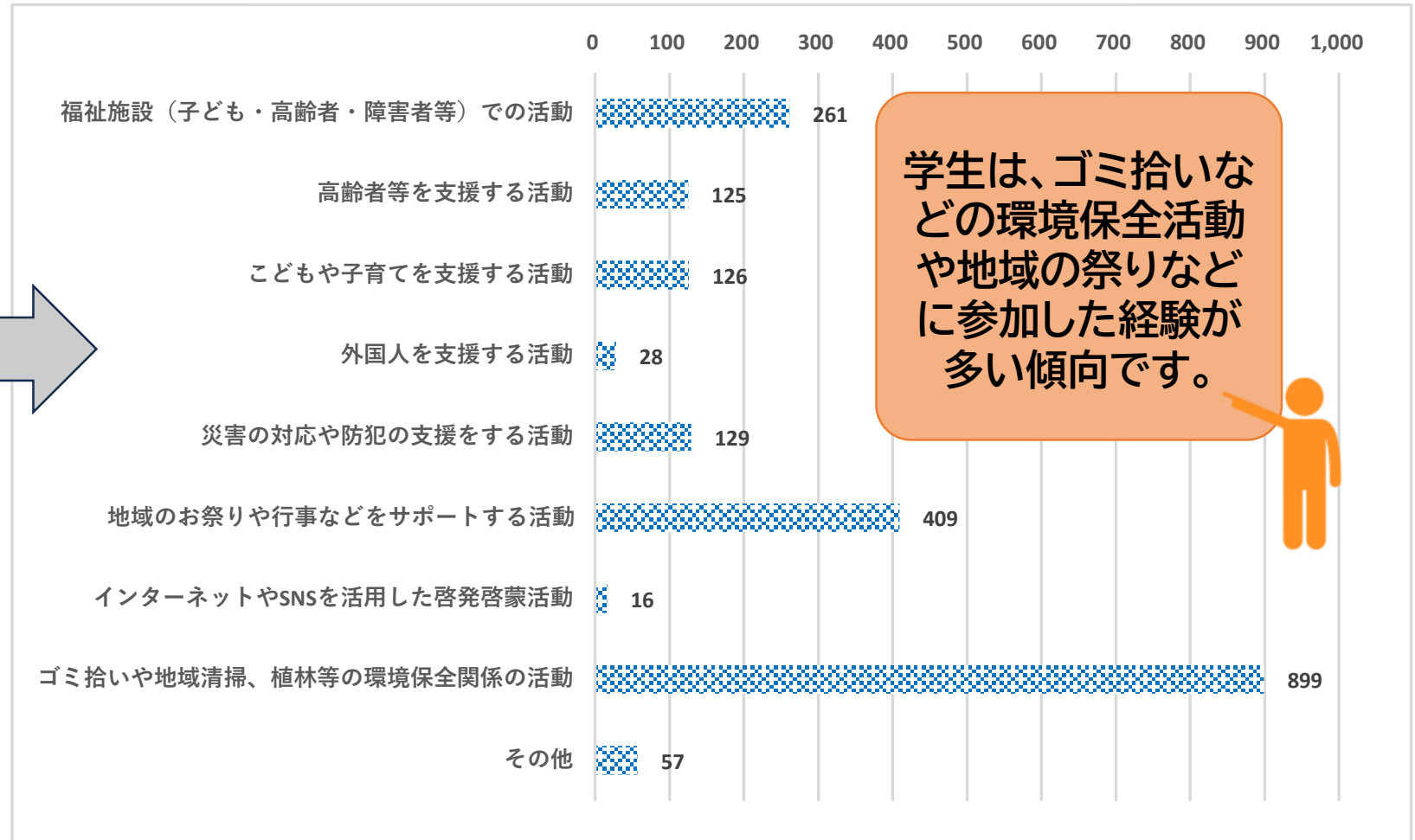
学生

## Q:学校以外でのボランティア活動や福祉活動に参加したことがあるか？

参加経験の有無



参加した活動内容



学生は、ゴミ拾いなどの環境保全活動や地域の祭りなどに参加した経験が多い傾向です。



# (5)市民アンケート・中高生アンケート報告(結果)

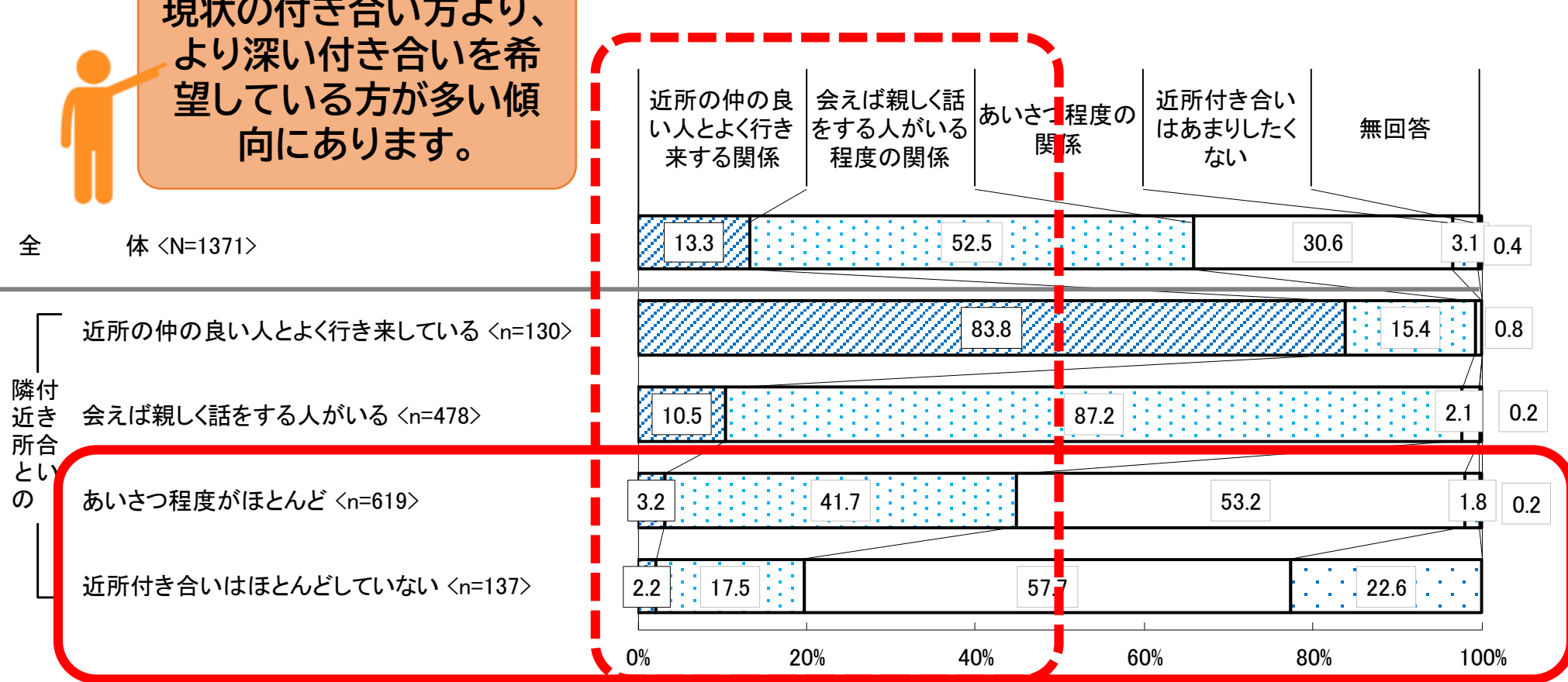


市民

## Q:現状の隣近所の付き合い方×今後希望する隣近所の付き合い方

現状の付き合い方より、より深い付き合いを希望している方が多い傾向にあります。

今後希望する隣近所の付き合い方



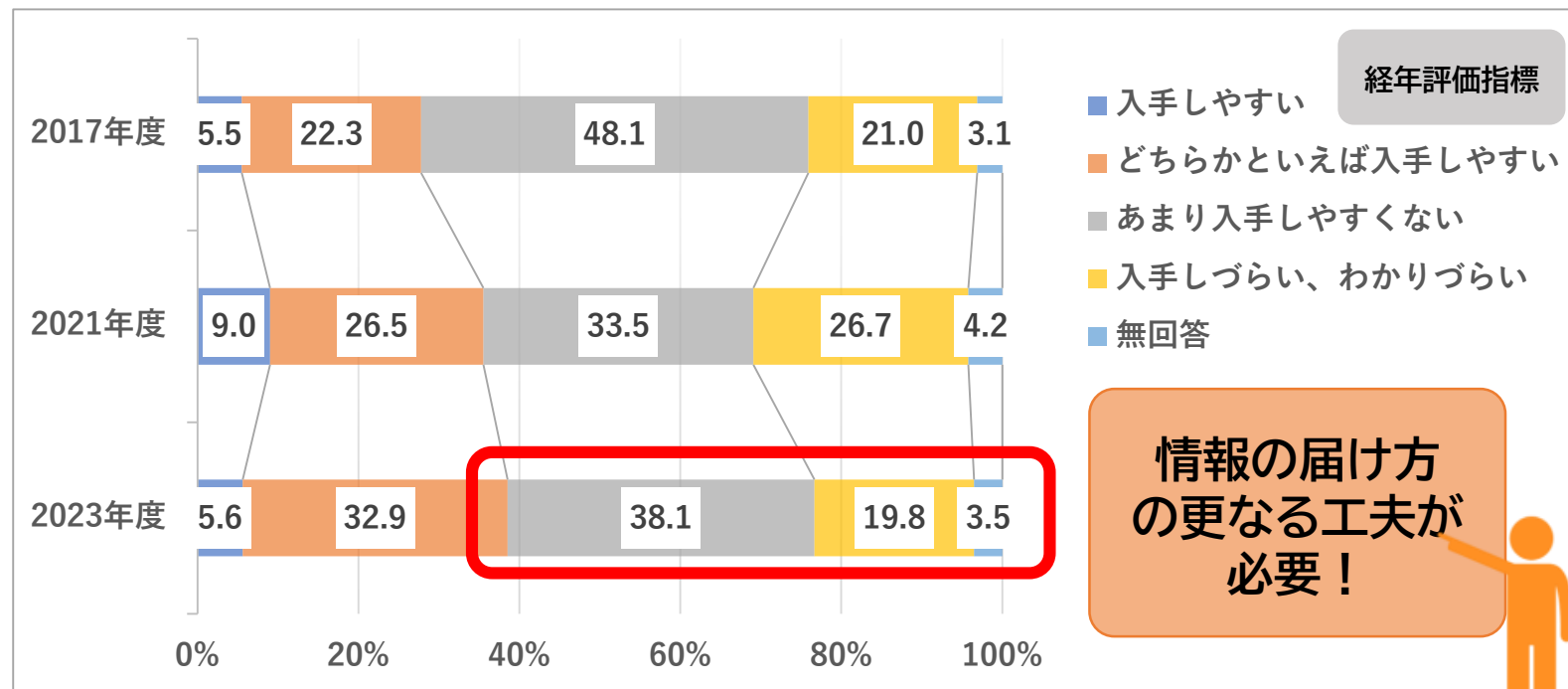
# (5)市民アンケート・中高生アンケート報告(結果)



市民

## Q: 柏市の健康や福祉に関する情報は、入手しやすいと思うか？

【柱2】  
だれもが暮らしの問題を相談でき解決できる仕組みづくり



全体の中で「入手しやすい」または「どちらかといえば入手しやすい」の割合が増えています。約6割はまだ課題を感じています。

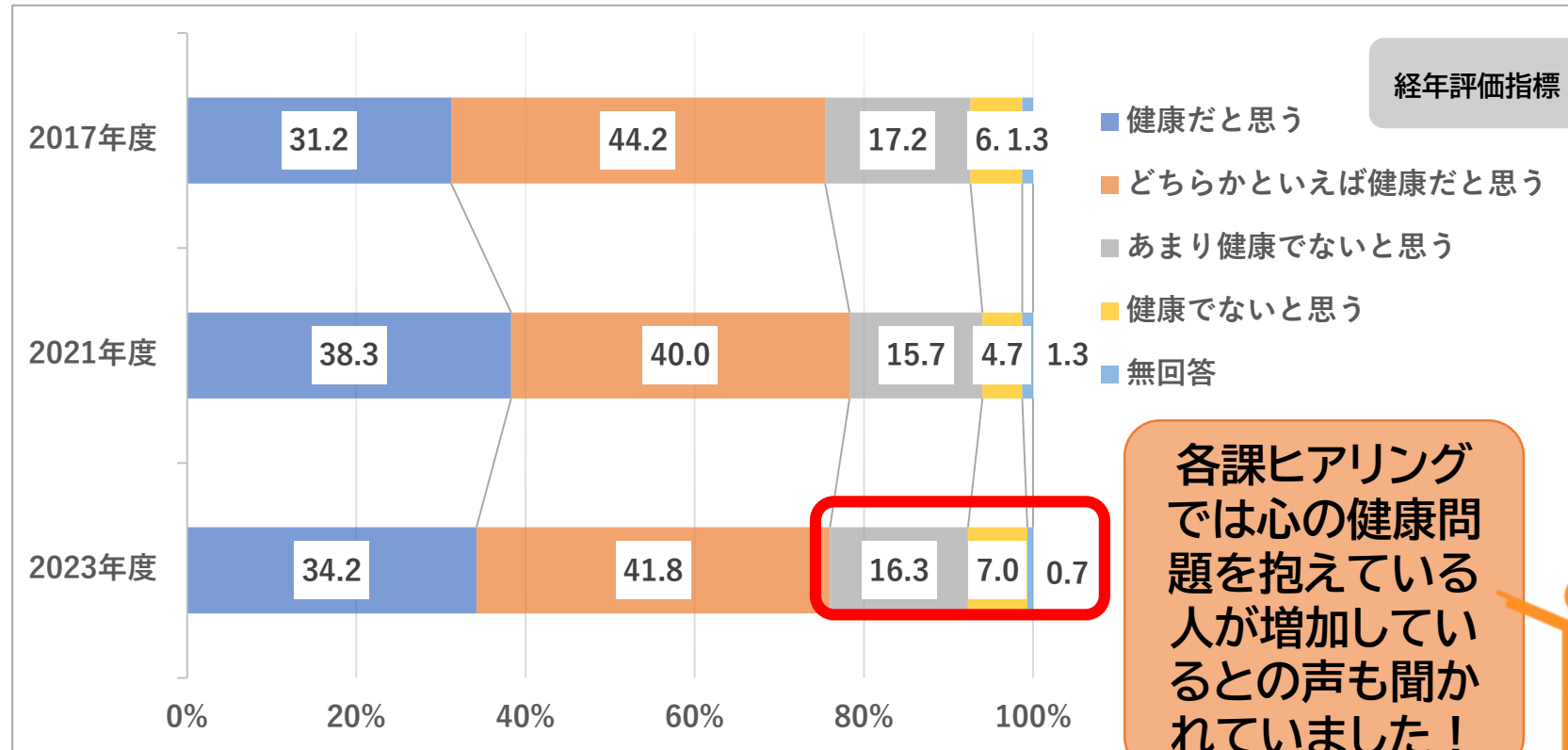
# (5)市民アンケート・中高生アンケート報告(結果)



市民

## Q:あなたは健康だと思うか？

【柱3】  
だれもが健康でい  
きいきと暮せる地域  
づくり



コロナ禍の影響もあると考えられますが、全体の中で「健康でない」と感じている割合が再び増加傾向にあります。

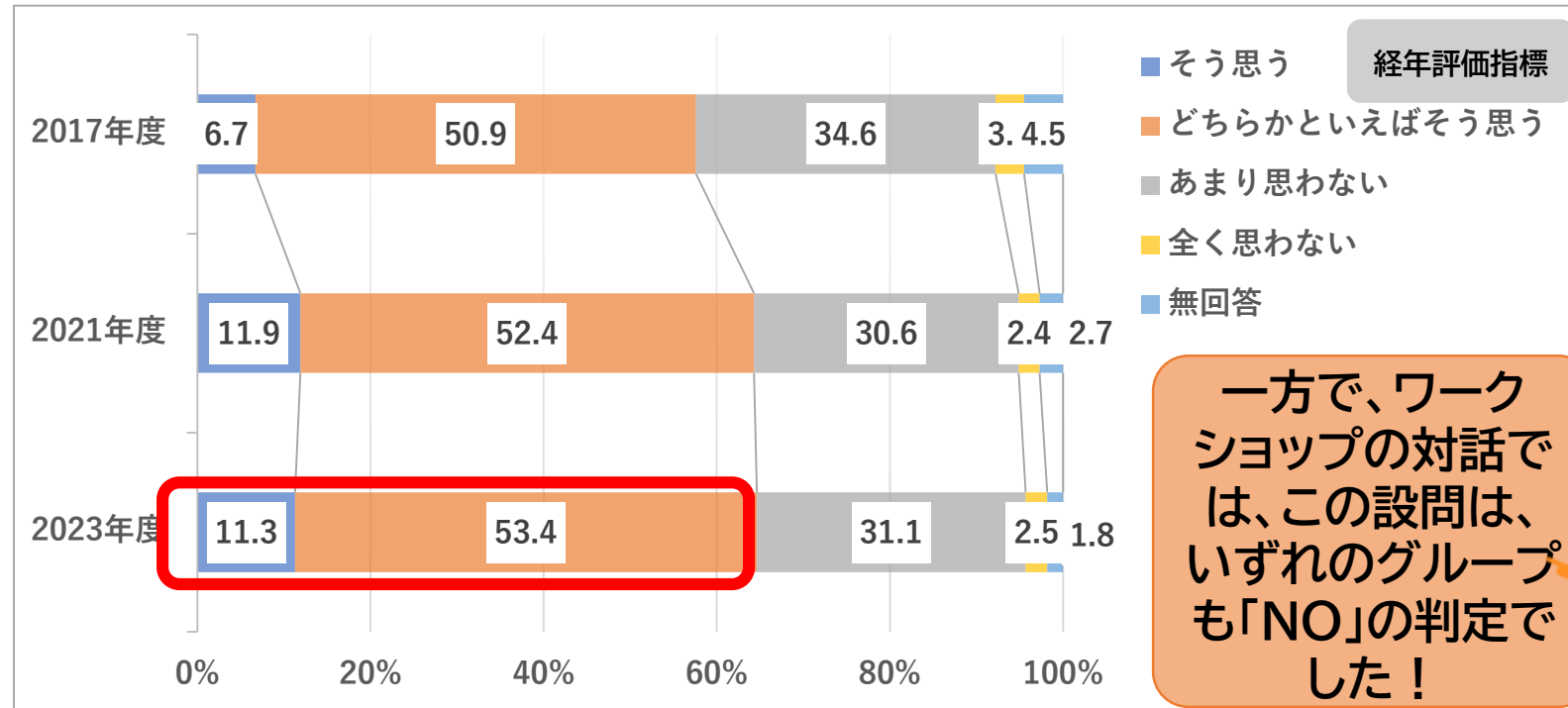
# (5)市民アンケート・中高生アンケート報告(結果)



市民

## Q:住まいの地域は障害者・高齢者や子育てをしている方にとって安心して生活できる環境だと思うか？

【柱4】  
誰もが安全・安心に暮らせる環境づくり



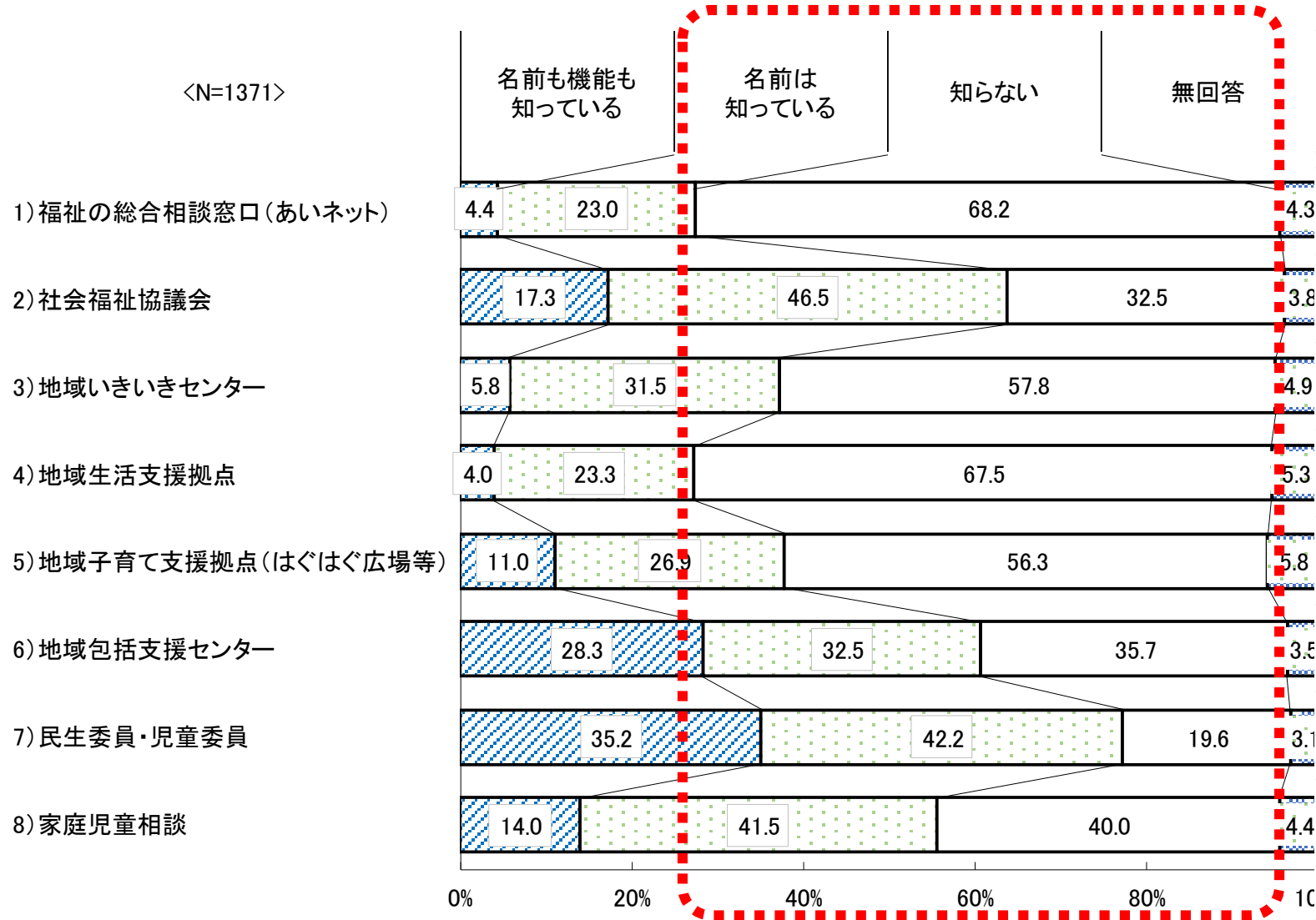
「そう思う」「どちらかというと思う」と感じている割合増えてきており、住みよい環境づくりが進められています。

# (5)市民アンケート・中高生アンケート報告(結果)



市民

## Q:各種相談窓口の認知度



重層的支援体制の推進に向け、提供する支援が届くように、各種相談窓口などの認知度をより高める必要があります。

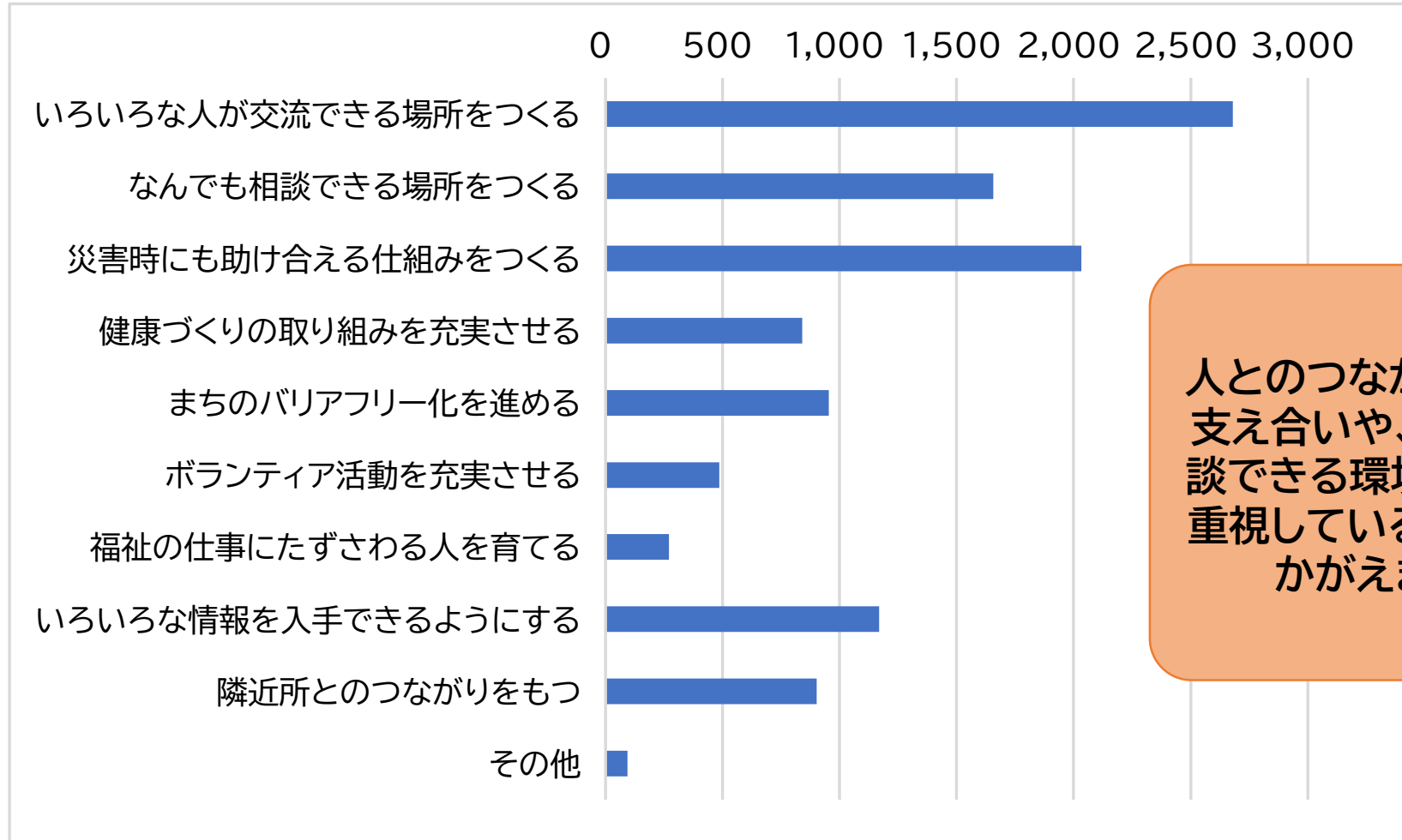


# (5)市民アンケート・中高生アンケート報告(結果)



学生

## Q:住みやすいまちで安心して生活するために重要だと思うこと



人とのつながりによる  
支え合いや、気軽に相  
談できる環境づくりを  
重視していることがう  
かがえます。



# (6) 計画の体系[案]



第4期柏市地域健康福祉計画(現行) 期間:令和元年~6年度(6年間)

第5期に向けて大幅に見直す箇所  
※下記の記載は、現計画の内容

## 第1章 計画の策定にあたって

1. 計画の策定の趣旨と背景
2. 計画の位置づけ
3. 計画期間

4. 計画の策定体制
5. 協働による計画の推進

計画を推進するための役割分担  
(市民, 地域, 市)

## 第2章 柏市の地域福祉を取り巻く現状と課題

1. 人口等の現状
2. アンケート調査から見える現状

3. 市民ワークショップから見える現状
4. 第3期計画の評価及び課題

地域健康福祉像実現のための5つの視点  
・「我が事」の地域づくり  
・「丸ごと」の地域づくり  
・「面」で取り組む  
・健康づくり  
・市役所内の連携

## 第3章 計画の基本的な考え方

1. 地域健康福祉像
2. 計画策定及び推進のポイント
3. 地域共生社会実現に向けた体制作り

4. 基本方針
5. 計画の体系
6. 計画を進める上での仕組み

国と市のそれぞれが目指す地域共生社会  
※上記5つの視点の具体的な策

## 第4章 施策の展開

**柱1** だれもが身近な地域の問題に関心を持ち共に支えあう地域づくり  
**施策** ①地域活動の促進 ②活動拠点の整備 ③人材育成

**柱2** だれもが暮らしの問題を相談でき解決できる仕組みづくり  
**施策** ①相談窓口 ②ネットワーク構築 ③情報発信

**柱3** だれもが健康でいきいきと暮らせる地域づくり  
**施策** ①健康づくり ②地域医療 ③社会参加

**柱4** だれもが安全・安心に暮らせる環境づくり  
**施策** ①防災・防犯 ②居住・移動支援 ③権利擁護

・自助・共助・互助・公助の視点  
・重層的な圏域のイメージ

・柱ごとに「目指す姿」を具体的に記入  
・推進するために、それぞれが担う役割を分担  
▶自助  
▶共助・互助  
▶公助  
・結果指標(市民アンケートより)を設定し進捗を図る

## 第5章 計画の推進

1. 計画の推進体制と評価





# 第5期柏市地域健康福祉計画(次期) 期間:令和7年~12年度(6年間)



第5期に向けて整理する方向性

第1章 計画策定の趣旨とこれからの地域福祉の在り方

- 1. 計画の策定の趣旨と背景
- 2. これからの暮らしや社会の変化を見据えた地域福祉の在り方
- 3. 計画の位置づけ
- 4. 計画期間
- 5. 計画策定の体制(地域福祉計画ができるまで)

第4期計画P38~45をブラッシュアップし、重視する視点や目指す福祉の考え方を記載

市民、庁内、審議会など、計画策定にあたって協働で作成したプロセスを記載

第2章 柏市の地域福祉を取り巻く現状と課題

- 1. 人口の推移等
- 2. 支援ニーズの状況
- 3. 地域の担い手の現状
- 4. 市民等の意識・ニーズなど各種調査から見える現状
- 5. 第4期の振り返り

データごとに整理

第3章 計画の全体像

- 1. 基本理念と地域共生社会の全体像
- 2. 計画の体系

第4章 基本方針別の施策と取組の推進(重点施策の設定)

柱1	だれもが身近な地域の問題に関心を持ち共に支えあう地域づくり <b>施策</b> ①地域活動の促進 ②活動拠点の整備 ③人材育成 ▶ <b>学びの場</b> ▶ <b>団体同士の連携</b>
柱2	だれもが暮らしの問題を相談でき解決できる仕組みづくり <b>施策</b> ①相談窓口 ②ネットワーク構築 ③情報発信 ▶ <b>切れ目のないサポート</b> ▶ <b>対話の場</b>
柱3	だれもが健康でいきいきと暮らせる地域づくり <b>施策</b> ①健康づくり ②地域医療 ③社会参加 ▶ <b>心身の健康</b> ▶ <b>こどもの健やかな育ち</b>
柱4	だれもが安全・安心に暮らせる環境づくり <b>施策</b> ①防災・防犯 ②居住・移動支援 ③権利擁護 ▶ <b>地域の安全</b> ▶ <b>虐待防止</b>

前期計画の結果と柏市の地域福祉の現状  
前期計画の結果、現状、意見の抽出  
(市民・学生アンケート、市民ワークショップ、庁内ヒアリング)

基本方針(柱)ごとの課題とニーズの洗い出し  
何が求められ・必要とされているのか 方向転換・現状維持・項目追加

今期(第5期)の基本施策と取組みの整理  
基本施策の変更・追加 重点取組みの設定

第5章 計画の推進

- 1. 計画の推進体制と評価



第1章 地域福祉とは

1. これからの暮らしや社会の変化を見据えた地域福祉の在り方
2. 計画期間
3. 計画策定の体制(地域福祉計画ができるまで)

第2章 柏市の地域福祉を  
取り巻く現状と課題

人口動態と各基本方針に紐づく背景データを  
1~2個ピックアップして掲載予定

第3章 計画の全体像

1. 基本理念と地域共生社会の全体像
2. 計画の体系(基本理念・基本方針・基本施策)

第4章 基本方針別の施策と  
取組の推進

柱1

だれもが身近な地域の問題に関心を持ち共に支えあう地域づくり

- 施策 ▶ ①地域活動の促進 ②活動拠点の整備 ③人材育成  
▶ **学びの場** ▶ **団体同士の連携**

柱2

だれもが暮らしの問題を相談でき解決できる仕組みづくり

- 施策 ▶ ①相談窓口 ②ネットワーク構築 ③情報発信  
▶ **切れ目のないサポート** ▶ **対話の場**

柱3

だれもが健康でいきいきと暮らせる地域づくり

- 施策 ▶ ①健康づくり ②地域医療 ③社会参加  
▶ **心身の健康** ▶ **こどもの健やかな育ち**

柱4

だれもが安全・安心に暮らせる環境づくり

- 施策 ▶ ①防災・防犯 ②居住・移動支援 ③権利擁護  
▶ **地域の安全** ▶ **虐待防止**

各柱ごとに「要約版」を記載

第5章 計画の推進

1. 計画の推進体制と評価

# (7) 令和6年度からの策定の進め方

